

なかつか 亮



2008年9月21日(日)

NO227

区議控室 Tel 5742-6818

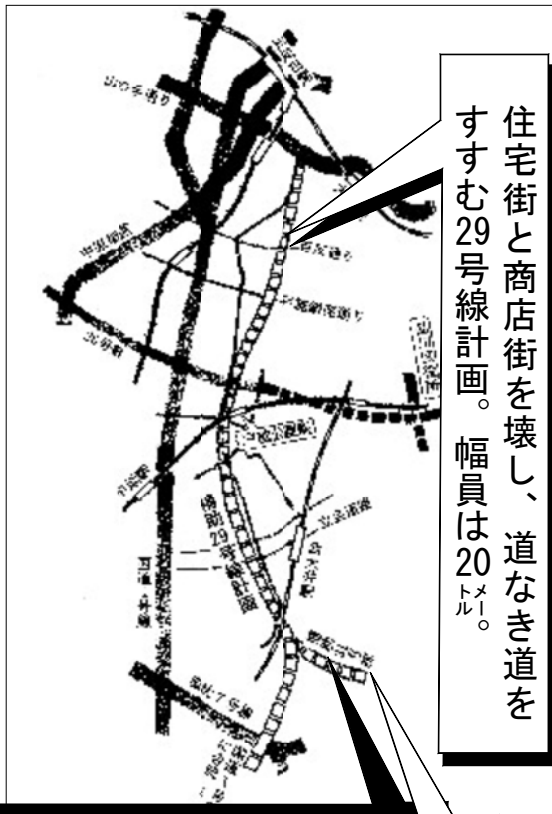
事務所 大井3-19-7-101

Tel 3773-3231

閑静な住宅街に 20m道路はいりません



品川区が長期計画「案」に29号線、31号線を
「早期の整備を促進」と明記



住宅街と商店街を壊し、道なき道を
すすむ29号線計画。幅員は20メートル。

31号線は西大井4丁目から大井7丁
目を通り池上通りへ。幅員15メートル。

案文に「促進」 盛り込む

品川区は現在、
「品川区長期基本計
画」を策定していま
す。今年5月に「案」
が発表され、区は29

号線と31号線につい
て「防災街づくりの
観点から早期の整備
を促進します」と記
しました。
長期計画は今後10
年間の区政運営の方

住宅街のど真中を通り、車の排気ガス撒き散らす…住
民が反対する「都市計画道路補助29号線」。品川区は29
号線とあわせ31号線を再び進めようとしています。
この計画は30年前から住民の反対運動で、工事着工を
ストップさせてきた道路。周辺住民の住環境を無視し、
「防災」を口実に道路建設ゴリ押しとは許せません。
再起動を許さず、静かな住宅街を子や孫たちに残すた
め、力を合わせましょう。

向を定めるもの。区
は29号線と31号線を
長期計画に盛り込み、
再びで進めようとし
ているのです。
キッパリ止めよ
2つ道路は都道で

す。東京都は
工事着工は住
民合意を前提
と話します。
私は住民が
反対している
道路計画はキッ
パリとやめる
べきだと思
います。

地震対策なら 住宅耐震化こそ

品川区は29号線と31号線を「延焼遮断帯」と話します。震度7クラスの首都直下型地震発生時に、広い道路と高いビルで市街地大火の拡大を防ぐという考え方ですが、疑問があります。

第一は、道路には大量の車が走っています。広い道で火災の拡大を防ぐ考えですが、ガソリン積んだ車で

埋め尽くされている道路が、どこまで火災の拡大を防ぐ事ができるか疑問です。避難道路としても、むしろ危険ではないでしょうか。

第二は、住民が29号線に反対している事です。区は防災対策と言いますが、総延長5.4kmの道路建設には用地買収など、莫大な費用と時間がかかり、いつ起きてもおかしくない首都直下型地震の対策としては、これ

では計画そのものが進みません。火事を出さない、広げないための緊急対策なら住宅耐震化事業こそ強化すべきです。

防災まで持ち出し「計画道路は何が何でも作りきる」という、道路行政こそ見直しが必要。住民が反対する道路建設はやめ、そのための税金は、くらしにこそ充てるべきです。ご意見、ご感想を。

なかつか亮

解説⇒「補助29号線と31号線とは、昭和21年に戦災復興都市計画街路として決定された幅20mの都市計画道路。(31号線は幅15m「下参照」)29号線は延長5.4kmで山の手通り大崎警察協から大田区南馬込で国道1号線に合流します。30年前から反対運動がおき、現在まで工事着工はストップしています」



そこどけ、そこどけ、道路が通る！！って何??

